

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交運一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2024年10月30日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年秋季年末闘争No.7

2024年度推進ニュース①通算352号

発行責任者 小島 茂

神奈川県南支部第31回定期大会を開催 要求実現と組織の拡大・強化を意思統一！

神奈川県南支部は、第50回衆議院選挙投票日となった10月27日（日）に川崎市教育文化会館で13:30から第31回定期大会を開催しました。

大会出席者は支部の構成組織（8分会と1班）の内7分会から代議員7名（イワサワ分会2名、中日臨海バス分会1名、合同分会4名）と会計監査2名（内外液輸分会、イワサワ分会）を含む全役員8名の15名プラス委任代議員2名（三昭運輸分会）でした。なお、昨年の大会出席者は12名でした。



大会での開会挨拶をする清野副委員長

神奈川県南支部の1年間のたたかいを振り返ると春闘・一時金闘争では大幅引き上げを

含めて経済闘争では全体的に成果をあげました。しかし、組合員数では昨年の定期大会（10月29日）以降6名の組合員拡大があったものの栃木県に会社との交渉拠点を置く日酸運輸分会が栃木県本部に移籍して6人が減少したこともあって全体では年間7名の減少となりました。

こうした状況を踏まえて今大会では【憲法が生きる安全・安心なトラック職場をめざして500名支部を視野に100名支部の早期回復と強靱な組織建設を】の大会スローガンを掲げて要求実現と併せ、組織の拡大・強化を最重要



大会議長に選出された和泉代議員

課題として位置づけた大会開催となりました。

開会挨拶をおこなった清野副委員長は、総選挙に関わって投票行動の大切さと政党・候補者の選択の重要性を強調しました。また、支部の組織現状に触れて支部のホームページの活用を訴えました。大会の議事進行は清野副委員長の提案で議長に選出され合同分会の和泉代議員がおこないました。

和泉議長からの提案で資格審査委員及び議事運営委員兼務で合同分会の益山代議員、選挙管理委員長は合同分会の河野代議員が選出されたあと小島委員長による主催者挨拶があまりました。



資格審査・議事運営の益山代議員 選挙管理委員会委員長の河野代議員

前代未聞・無責任な石破首相を痛烈批判

小島委員長は、岸田首相に代わって自民党総裁選に勝利した石破氏が首相就任前に国会解散・総選挙実施を表明する前代未聞の対応や、首相に就任するや否や総裁選で明言していた国民向け公約をすべて反故にする無責任さを痛烈批判しました。また、トラック産業の2024年問題にも触れて厚生労働省の過労死認定件数で毎年ワーストワンの不名誉な記録を更新しつづけているトラック労働者の状態改善は待たなしの課題だと指摘して、トラック労働者の賃上げや労働条件改善に



小島委員長は主催挨拶で石破首相を批判

川崎市教育文化会館



大会議案を提案する金崎書記長

むけて神奈川県南支部の組合員を増やす運動を共に進めようと呼びかけました。つづいて益山資格審査委員から規約にもとづく大会成立要件が満たされていることが報告され、益山議事運営委員からの議事進行案も確認されました。

さらに河野選挙管理委員長からの次年度役員立候補についての報告・説明についても確認されました。

つづいて、金崎書記長による議案提案に移り23年度の賃金闘争（24春闘・23年末・24夏季一時金）では、全国的なたたかひに呼応して一定の前進をしたが組織建設では後退を余儀なくされたことが報告され2024年度の運動方針では積極的な賃金闘争と組織の拡大・強化の運動をすすめることが提案されました。続いて佐藤執行委員による2023年度決算報告、三浦会計監査による監査報告、佐藤執行委員からの2024年度予算案等が提案されて休憩に入りました。



決算・予算を提案する佐藤執行委員

休憩後は、和泉議長が参加者の活発な発言を促して内外液輸分会、イワサワ分会、中日臨海バス分会、東進産業分会、エネックス分会、ギオン分会からそれぞれが抱える課題や展望などが報告・決意表明がされました。とりわけイワサワ分会からは差し迫った深刻な課題も報告されて参加者からのアドバイスなどもおこなわれました。



会計監査報告する三浦会計監査委員

討論後に金崎書記長がまとめをおこない、すべての議案が満場一致で採択され、つづく役員選挙とスト権の批准投票も満票で信任されました。閉会挨拶を行なった須田執行委員は総選挙のなかで「労働組合の政治闘争が労働者の要求実現に大きな影響を与えると強調しました。最後に小島委員長の団結ガンバロウで大会は成功裏に終了しました。



政治闘争の重要性を説く須田執行委員

新年度の役員は下表のとおりです。新任はイワサワ分会

に所属する
木下大輔さん
天野真一さん
坂本勝利さん
の3名です
宜しく願
います。

執行委員長	副執行委員長	書記長
小島 茂	清野 純平	金崎 美佐夫
執行委員		会計監査
佐藤 章	須田 圭二	三浦 宏康
木下 大輔	天野 真一	坂本 勝利
特別執行委員	赤羽 数幸	



2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿
建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)
中央執行委員長 角田 孝代



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に“「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711

（名義）建交労中央本部

* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195

（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。